

## 19. 第9回彦根市立病院ふれあいまつり

6月2日、今年も五月晴れのもと、彦根古城太鼓の迫力ある演奏で、第9回彦根市立病院ふれあいまつりの幕があいた。

今回のメインテーマは、「みんなで考えよう！自分の健康、地域の健康」で、例年通り看護の日イベントを兼ねて開催した。”予防に勝る医療はない”と言われるが、自分の健康を見直し考えていただくことをテーマとし、たとえ病気になったとしても救急や専門的な医療が受けられる彦根市立病院が身近にあることを知っていただきたいとの思いで企画した。

今年は、外科体験、心臓カテーテル手術体験、薬剤調合体験など、専門職である医師や薬剤師が直接アドバイスしながら、学び、楽しんでいただくという体験コーナーをより充実させた。子どもを中心に多くの参加者の方々が、日常では味わえない体験に大変満足された様子であり、病院まつりならではの企画を提供できたのではないかと思う。

この「彦根市立病院ふれあいまつり」は、地域住民に開かれた病院を目指し、病院の実情を知ってもらおうと同時に我々の思いを地域住民の皆様に届けることを目的に始まった。

年々、参加人数・イベントの規模が大きくなり、いまや日本有数の病院イベントに発展した。これも、忙しい日常業務を終えた後に、準備をしていただいた関係者の努力と、この病院のよいところを知ってもらいたいとの熱い思いの結果である。また彦根市健康サポーターズ倶楽部、滋賀県立大学、彦根みずほライオンズクラブや歯科医師会、福祉団体、協賛企業など様々な団体と一緒に作り上げた催しでもあり、ご協力いただいた皆様に感謝を申し上げたい。

これからも、地域住民の皆様に親しまれ、安心とぬくもりがある、地域に貢献できる自慢の病院を目指していろいろな取り組みを行っていくが、この「ふれあいまつり」がその一助となることを願っている。